須坂市消防団広報紙
さくら
さくら…消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています
2013（平成25年）10

▲第11分団ラッパ隊　大会３連覇!!

須坂市消防団 消防技術大会（６月９日）

ラッパ吹奏大会結果		小型ポンプ操法大会結果	
１位	11分団	１位	８分団
２位	１分団	２位	７分団
３位	８分団	３位	３分団
４位	４分団	４位	５分団
５位	７分団	５位	11分団
６位	３分団	６位	９分団
７位	９分団	７位	１分団
８位	５分団	８位	10分団
９位	10分団	９位	４分団
10位	２分団	10位	６分団
11位	６分団	11位	２分団

須高消防協会 消防技術大会（６月23日）

ラッパ吹奏大会結果	ポンプ操法大会結果
１位　須坂市消防団	１位　須坂市消防団
２位　高山村消防団	２位 須坂市消防団第８分団
３位　小布施町消防団	３位 高山村消防団（４分団）
	４位 小布施町消防団（２分団３部）

「本年度の大会を振り返って」

第11分団２部
山岸（やまぎし）　伸也（しんや）

十一分団ラッパ隊は、今年市技術大会三連覇がかかった大会となりました。近年、分団の吹奏レベルは向上し、ラッパ手の仲間も「上達したい。」「ラッパが楽しい。」という思いが強くなり、大会前の早朝訓練もチーム一丸となり取り組むことができました。「大会で優勝したい。」「三連覇したい。」という思いが一つとなり、市大会のラッパ吹奏では練習以上の吹奏ができ、緊張よりも楽しいという時間が過ぎていることを感じました。結果、大会三連覇を飾ることができ、最高の感動を体験しました。このような輝かしい成績を残せたのも家族や地域、職場の皆様のご支援ご協力があったからこそと感謝申しあげます。

今後もラッパ吹奏の技術向上を図り、予防消防に努めると共に、地域の安心安全のため消防団活動を行っていきたいと思います。

県大会出場　第八分団

須高地区内の当番分団として、県ポンプ操法大会へ出場いたしました。成績は入賞へ一歩及ばず六位でありましたが、分団が一丸となって取り組むなかで培った「団結力」は、今後の第八分団の大きな財産であります。今大会で得た成果を糧に、悲願である県大会優勝に向け今後とも精進して参ります。

絶大なご支援をいただきました全ての皆様に、心より御礼申しあげます。ありがとうございました！

須坂市消防団管轄区域　第１分団　１部 穀町、上町　２部 坂田町、南原町　第２分団　１部 本上町、上中町、中町、常盤町　２部 屋部町、小山町、北原町　第３分団　１部 横町、東横町、立町　２部 南横町、北横町、馬場町、西町、須坂ハイランド町、田の神町　３部 八幡町、境沢町　第４分団　１部 春木町、新町、太子町、相森町　２部 高橋町、大谷町、本郷町

「消防団に入って」
ーポンプ操法県大会に須坂市女性隊出場ー

第五分団二部　依田（よだ）　紀美（きみ）

消防団に入り、早くも九か月が過ぎようとしています。何もかもわからずにいた自分ですが、様々な経験をさせていただきました。

今年はポンプ操法の県大会に須坂市女性隊も出場するということで、そのメンバーに加えさせていただきました。何といっても消防団の団結力の強さを目の当たりにしました。

団長をはじめ、副団長、各分団長、団員の皆様のご指導と応援に感激いたしました。また、操法の音楽隊のみんなと出会うことができ、大会当日まで毎回楽しく!!笑顔で!やる時は真剣に取り組むことができ、当日は輝いた操法を見事に展示することができました。

そして、現在女性消防団員八名一丸となって、火災予防活動の為、オリジナル劇の練習真っ最中です。ゆかいな仲間で試行錯誤して頑張っています。

女性団員としての活動をこれからどんどん盛り上げていきたいと思います。多くの女性の方の入団を私達女性消防団員八名、心からお待ちしています～す!とっても楽しいですよ。ぜひお近くにいる女性の方へ声をかけてください。よろしくお願い致します。

「県大会で展示」県操法大会で女性消防団による軽可搬ポンプ展示（８月４日）

▲「幹部視察研修」田村市消防団の皆様と意見交換を行いました。（４月14日）

▲「幹部視察研修」石巻赤十字病院で震災時の対応等講義をいただきました。（４月15日）

▲「幹部訓練」森上小学校にて規律訓練を行いました。（５月12日）

▲「空中消火訓練」県防災ヘリ「アルプス」との連携訓練等を行いました。（５月26日）

写真で見る 消防団の活動 4月～9月

▲「ボート訓練」臥竜公園竜ヶ池で一般市民の方と、ボート操作訓練を行いました。（７月14日）

今後の主な活動予定

10月20日	婚活事業
10月30日～31日	第19回全国女性消防団員活性化ぎふ大会
11月上旬	須坂市ラッパパレード
11月９日～15日	全国秋季火災予防運動
11月25日	消防団120周年・自治体消防65周年記念大会（東京ドーム）
12月26日～30日	歳末特別警戒
１月12日	消防出初式

▲「須坂市総合防災訓練」墨坂中学校にて総合防災訓練に参加しました。（８月25日）

▲「女性消防団火災予防寸劇」ぬくもり園にて女性消防団員８名による火災予防寸劇を行いました。（９月８日）

▲「分団対抗ソフトボール大会」快晴の中、北部グラウンドで行い第３分団が優勝しました。（９月23日）

須坂市消防団管轄区域　第５分団　１部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン　２部 南小河原町、小河原町、新田町　３部 小島町、豊島町　４部 相之島町、北相之島町　第６分団　１部 高梨町、五閑町　２部 塩川町　３部 沼目町　４部 八重森町　５部 村山町　第７分団　１部 井上町　２部 福島町　３部 中島町　４部 九反田町　５部 幸高町　６部 米持町

消防団員家族の声

パパの仕事は消防

中山日香理（なかやまひかり）さん

須坂市消防団員の皆様、日々の活動心より御礼申しあげます。

主人が消防団員になってから今年で二年目になります。活動内容を知らなかった私も、主人がポンプ操法大会の選手になったのをきっかけに、毎朝練習に出掛けて行く姿や、日々の活動を間近で見て「自分たちの町を自分たちで守る」ために訓練や技術の習得に励んでいるという思いを知ることができました。

団員の皆様はそれぞれの仕事を持ちながら活動されています。主人の仕事は整備士ですが、息子は「パパの仕事は消防」と間違えるほど主人も頑張っています。

私たち家族のできることは、一市民として消防団の活動への理解と協力をすることだと思います。

消防団の皆様、これからも地域の安心安全のための御活躍をお祈り申しあげます。

がんばれお父さん

小山（こやま）　千誉（ちえ）（小５）さん
馨世（かよ）（小２）さん

私たちのお父さんは、十一分団の分団部長ですが、私たちの書道の先生でもあります。

六月の消防の大会の練習で朝早いのに、その頃、ちょうど書道のコンクールに出品する作品作りで毎日夜、おけいこしてくれました。

つかれているのにありがとう。

消防は朝早かったり、夜おそくまでだったりおつかれさまです。

私が中学卒業の時、妹が小学校卒業の時、ちょうど分団長で、はっぴ姿で来てくれるそうなので、はずかしい気もありますが、楽しみです。

これからも、ケガとか体には気をつけてください。

応援してます。

地域防災のために

渡辺（わたなべ）　淳子（じゅんこ）さん

息子は就職して須坂に戻った年から消防団の仲間に入れていただきました。

一年を通して沢山の活動や訓練に出掛けて行く息子を見ていて、又、六月に行われる技術大会の応援に行ってみて、その真剣さ、真っ直ぐさに心打たれました。そして、今まで消防団活動をほとんど理解していなかった自分を恥ずかしく思いました。新規入団者も少ないと聞いています。

仕事を持ちながら、活動に参加していくのはとても大変なことですが、その分得られる物も多いはずです。

地域防災のために欠く事のできない消防団の将来のために、私たち市民や企業の理解・応援が必要だと思います。

消防団への思い出

山岸（やまぎし）　子枝（ちかえ）さん

消防のラッパの音を聞くと子どもの頃を思い出します。ラッパの音を替え歌で皆で歌っておりました。私は今八十七才です。日本が戦後から立ち直ろうと頑張っていた昭和二十年代その頃は町の消防団も大勢おり、地域全体で守っていきたいという思いが強く、活気にあふれていました。亡くなった主人も消防団でしたので、法被を着ていた姿が目に浮かびます。

今、孫が消防団に入って早朝の訓練や警鐘たたき等頑張っております。日々の活動のおかげか、消防団の方は皆さん家族想いだと思います。孫はいつも足が悪く歩けない私をおぶって階段を昇り降りしてくれ、感謝しています。何年にも渡って活動が続いている理由は家族や地域の人とのつながりもあっての事と思います。消防団の皆さん、この故郷のためにいつもありがとうございます。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜をとわず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長　依田　浩明

須坂市消防団管轄区域　**第７分団**　**７部** 二睦町　**第８分団**　**１部** 下八町　**２部** 上八町　**３部** 野辺町、望岳台　**４部** 村石町、明徳町　**第９分団**　**１部** 仁礼町（仙仁、瀬之脇、宇原、西原、浅間塚、福沢）、峰の原　**２部** 仁礼町（常盤、中村、新田）　**３部** 仁礼町（関谷、栃倉）　**第10分団**　**１部** 亀倉町、夏端町　**２部** 米子町　**３部** 塩野町　**第11分団**　**１部** 大日向町、豊丘町　**２部** 豊丘上町

各分団の活動紹介

第九分団

私たち第九分団は、仁礼町・峰の原の総員七十名（三個部編成）で活動しています。

過去に大きな土石流災害を受けた地域であり、日頃から規律訓練や放水訓練などを通じ、団員の士気高揚と団結力強化を図りながら様々な災害に対応できるよう訓練を重ねています。

また、峰の原と隣接する上田市消防団菅平分団との合同訓練を四年前から行うようになりました。今後も三年毎に訓練を行っていきます。

地域の安心・安全を守るためには多くの力が必要です。地域の皆様の消防団活動に対するご理解、また、団員確保に対するご協力をよろしくお願い致します。

第9分団長　塩野和雄

第十分団

私たち第十分団は、一部（亀倉町・夏端町）、二部（米子町）、三部（塩野町）の三個部で編成されております。

当分団は山を抱えている分団の中の一つです。今年から、団員の知識向上を目的にと、山林火災時に必須となります中継送水といった訓練を消防署で二回ほど企画し、署員からご指導頂いて訓練を行なってきております。

恒例伝統行事として五月一日、米子不動尊の祭りの警戒をはじめ、各町の祭りの警戒・交通整理といった活動も行なっております。

また、秋口になりますと各町の防災訓練で消火栓の取り扱い説明。須坂荘・悠生寮の防災訓練では放水といった訓練も行なっております。

冬になりますとここ数年、米子町にて側溝に雪・氷等が詰まって側溝の水が氾濫し、区の要請で詰まった箇所の雪・氷等の除去活動も行なったりもしております。

ここ最近、各地で豪雨・地震等による災害等が多発しております。そういった緊急災害にも順応できるよう、今後、団員共々楽しく濃厚な訓練等していきたいと思っております。

第10分団長　寺島　均

☆須坂市消防団☆ 団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか！きっとかけがえのない仲間ができるはずです。

【対　象】　18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ
須坂市消防本部総務課（☎026－245－4100）
e-mail：s-shobo@city.suzaka.nagano.jp
※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。

須坂市消防団音楽隊 第29回 定期演奏会

と　き　11月10日（日）
ところ　須坂市文化会館（メセナホール）
開　演　午後5時（4時開場）
チャリティー

皆さまに楽しんでいただける演奏会をめざして、隊員一同がんばって訓練を重ねておりますので、大勢のご来場を心よりお待ちしています。

アルトサックス
増澤可奈子（ますざわかなこ）
（夏端町）

【演奏曲目】
・式典のための行進曲「栄光をたたえて」・あまちゃん　オープニングテーマ
・Believe（ビリーヴ）　ほか
★今年は、みんなで歌って!!　音楽隊の指揮にもチャレンジしてみよう♪♪

♪　須坂市消防団ラッパ隊の演奏も是非ご期待ください　♪

編集後記

須坂市消防団長　依田　浩明

春先に多発した火災も減少し、やっと落ち着きを取り戻しました。消防団は、引き続き予防消防に努めます。皆さまのご協力をお願いします。

気がつけば今年も残り3ヶ月。団員募集の季節がやってきました。

今年は、消防組（消防団の前身）の結成から一二〇年の節目の年。十一月に東京ドームで開催される記念式典では、全国のラッパ隊の中心で、須坂市消防団ラッパ隊が吹奏します。

全国を股にかける須坂市消防団は、あなたの入団をお待ちしています！

編集委員長（分団長会長）
小川　晃（第八分団長）

【編集委員】

第11分団長	第10分団長	第9分団長	第8分団長	第7分団長	第6分団長	第5分団長	第4分団長	第3分団長	第2分団長	第1分団長	音楽隊長	ラッパ長	副団長	副団長
小林孝明	寺島均	塩野和雄	小川晃	土谷直生	中島貴洋	竹内智弘	加藤益一	黒岩一	小山正視	大峡伸淳	豊田大憲	波多敏幸	田中勝樹	成田統

須坂市消防団広報紙「さくら」第12号
編集・発行／須坂市消防団（事務局：須坂市消防本部総務課）
〒382-0094 須坂市大字小山1306 TEL026-245-4100 FAX026-248-4460